



椎葉村長から寄付金を受ける山元さん(左)  
17日午前、椎葉村開発センター

## 椎葉村100万円寄付

### ザンビアの診療活動資金に

ザンビアでの巡回診療に役立ててもらおうと、椎葉村は17日、都城市出身の内科医、山元香代子さん(63)に活動資金とし

### 医師・山元さん(都城)へ

て100万円を寄付した。山元さんが同村立病院での勤務経験があることから、村が支援を決めた。山元さんは「私の医師の原点は椎葉にある。本来にありがたい」と喜んでいる。山元さんは8年前からザンビ

アで活動を始め、現在は3カ月ごとに日本と同国を行き来し、診療やマラリアの予防啓発を続けている。2015年に宮崎日日新聞賞(国際交流賞)を受賞。椎葉村では1982(昭和57)〜84(同59)、89〜90年に

村立病院に勤務した。山元さんは同日あった「椎葉村生涯学習フェスティバル」で講演し、過酷な環境で暮らすザンビアの人々の生活や巡回診療の様子を説明。椎葉村での医療活動にも触れ「世の中には家族

のため必死に働き、懸命に生きる人たちがいる。そんな人たちが少しでも幸せになれるよう役に立ちたいと思ったことが私の「原点」と声を詰まらせながら振り返った。

講演後に寄付金の贈呈式があり、椎葉開発村長は「山元さんの活動を少しでも支援できれば」。山元さんは「ザンビアでの活動はつらいことも多いが、村の皆さんに会って元気をもらった。寄付金はマラリアのワクチンを買う資金にします」と話していた。同村は寄付金贈呈を昨年の12月議会に提案し、可決された。(福重政則)